

高等学校 令和8年度		教科	家庭科	科目	家庭総合
教科：家庭科	科目：家庭総合	単位数：2 単位			
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組					
教科担当当者：（1組：渡辺・中島）（2組：渡辺・中島）（3組：渡辺・中島）（4組：渡辺・亀井）（5組：渡辺・亀井）					
使用教科書：（実教出版 家庭総合）					
教科 家庭科 の目標：					
【知識及び技能】・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家庭、衣食住、消費や環境生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につける。					
【思考力、判断力、表現力等】・家庭と地域及び社会における生活の中から課題を見つけ、解決策を構想・考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。					
【学びに向かう力、人間性等】・さまざまな年代の人々や色々な暮らし方を理解し、地域社会に参画しようとするなど、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。					

科目 家庭総合		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見つけて、解決策を構想し、考察した実践したりしたことを根拠に論理的に表現する実践として課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A, B 単元 【知識及び技能】 ●ライフステージにおける衣服の特徴、特に青年期から成人期になっていく高校生において、TPOに合わせた服装の重要性について理解させる。 ●繊維の特徴による衣服の用途を考えさせ、日常生活の中でより適した衣服の選択ができるように指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 ●一枚の布をパーツごとに裁断させる。裁断したものがエプロンのどの部分になるのか全体像を考えながら作業できるようにさせる。 ●洗濯時の取り扱い表示の意味を理解させ、衣服ごとに適した洗濯ができるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ●人と衣服のかかわりについて、歴史的な背景と結びつけて理解させる。 ●ミシンの各名称と上糸、下糸のかけ方について理解し、正しく糸をかけることができるように指導する。途中でミシンが動かなくなった時に対処できるように指導する。	・指導事項： 教科書に基づいた内容 ・教材： 教科書、資料集、プリント、PC	【知識・技能】 ●ライフステージごとの衣服の特徴を理解したか ●繊維の種類と特徴を理解することができたか 【思考・判断・表現】 ●エプロンの全体像を捉えながら、各パーツを裁断し、縫うことができたか。 ●実際に自分の着ている服の表示を見ながら、表示の意味していることが理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●衣服の起源について歴史的背景と結びつけながら興味をもって学ぶことができたか。 ●ミシンの名称を覚え、糸を正しくかけることができたか。ミシンにトラブルがあった時に教わった知識をもとに自分で対処しようとしたか。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ●体の中で五大栄養素の働きについて理解し、それぞれ五大栄養素を多く含む食品は何かわかるように指導する。 ●年齢や生活強度に応じた食事の量・バランスの重要性について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ●調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけさせる。 ○食中毒の種類と予防法を理解した上で、調理実習に取り組むことができるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ●現代の食生活の傾向を知り、問題点を考えさせる。 ●調理実習が始まる前までに、エプロン作品を最後まで完成させる態度を養う。	・指導事項： 教科書に基づいた内容 ・教材： 教科書、資料集、プリント、PC 課題レポート、手作りカード	【知識及び技能】 ●五大栄養素の働きについて理解し、それぞれの栄養素を多く含む食品を理解することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ●調理実習を通して、基本的な調理技術を身につけることができたか。 ●食中毒の予防について理解し、調理実習で衛生管理を意識しながら行うことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ●現代の食生活の傾向を理解し、自分の食生活と結びつけながら課題について考えることができたか。 ●提出期限を意識し、作品を最後まで完成させようと積極的に取り組むことができたか。	○	○	○	31
	定期考査			○	○		1
3 学 期	D 単元 【知識及び技能】 ●賃貸物件を借りる際の必要な知識を学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ●入居時に必要な費用を計算することができるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ●ライフスタイルに応じた物件選びができるように指導する。	・指導事項： 教科書に基づいた内容 ・教材： 教科書、資料集、プリント、PC	【知識及び技能】 ●賃貸物件を借りる際の必要な知識を学ぶことができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ●入居時に必要な費用を計算することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ●ライフスタイルに応じた物件選びができるよう課題に取り組むことができたか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1